

## 埼玉県秩父農林振興センターほかエコオフィス化改修事業に係る 提案審査の講評について

本事業は、中規模の老朽化した複数の施設へのＥＳＣＯ提案公募であり、集中空調方式を個別空調方式で改修並びに省エネルギー改修及び維持管理業務等について、応募者の独自性のあるノウハウを生かした提案を広く求めたところ、ジョンソンコントロールズ株式会社・芙蓉総合リース株式会社・株式会社ソーセツ、株式会社山武・株式会社アペックの以上２グループから応募がありました。

埼玉県における事前の省エネルギー診断では、１９．３％の省エネルギー率及び２０．６％のＣＯ２排出量削減率を見込んでいましたが、両応募者の提案が、いずれもこれに近い値が上回る省エネルギー効果及びＣＯ２排出量削減率が見込まれる内容となっており、事業の技術面及び維持管理面に具体性や妥当性がある提案でした。

これらのＥＳＣＯ提案を、埼玉県秩父農林振興センターほかエコオフィス化改修事業提案審査要領に基づき、提案書・応募者によるプレゼンテーションなどについて、事前に公表した審査要領に従い、各委員の評価点を合計する形で順位付けしました。

その結果、総合評点の最も高いジョンソンコントロールズ株式会社のグループの提案を最優秀提案とし、優先交渉権者とするものとしました。

なお、次点の株式会社山武のグループの提案を優秀提案としました。

ジョンソンコントロールズ株式会社のグループの提案は、施設の使用状況を考慮した外調機の設置や全熱交換機、加湿器及び空気洗浄機の設置が提案され、遠隔監視装置の設置による省力化、照明設備の高効率化など財政面、技術面のみならず、室内機を天吊り型やカセット型にし、部屋の有効利用を図るなど執務環境の改善面でバランスの取れた提案となっていました。

また、株式会社山武のグループの提案は、維持管理において既存設備も遠隔監視センターで一元管理したり、屋外機を定期的に一定時間停止させ省エネルギーを図るなどの独自性が見られたものでした。

最後に、多大なる労力をおかけし、貴重なるご提案をいただいた応募者各位に心からお礼申し上げます。

平成２０年８月４日

埼玉県秩父農林振興センターほかエコオフィス化改修事業提案選定会議

委員長	中上 英俊
副委員長	津久井 千章
委員	長島 良亮
委員	布施 征男
委員	藤井 信夫